



# しずく 通信

## この号について

---

(栞)

春の号は、私（栞）が代わりにまとめました。

はるまきの家は、この春、子どもたちの入学と進級が重なって、台所がずっと湯気でいっぱいだそうです。寄稿は書いてくれたので、編集だけを引き受けました。いつもより薄い号になりますが、そのぶん、早く読み終えて、窓の外の桜を見てください。

それから、オトから、四月からしばらくお休みします、と連絡がありました。引っ越しと、仕事が変わるためです。戻ってくる日を、みんなで待っています。

## もくじ

---

この号について／感情浴会の記録（第45回～第47回）／寄稿 春に始めたいゲーム（ヤギ）／寄稿 新生活とドラマ（はるまき）／春の選書

## 感情浴会の記録

---

第45回（一月）考え込みたい 宮崎駿監督『君たちはどう生きるか』 進行：ロク 記録：草餅

それぞれ映画館で観てから集まりました。ロクは最初に、今日は答えを出さない回にする、と言いました。分からなかったところを持ち寄って、分からないまま帰る回です。最後にロクが、要するに、と言いかけて、やめました。

第46回（二月）救われたい 『葬送のフリーレン』（テレビアニメ） 進行：凧  
記録：栞

勇者が亡くなった葬儀の場面で、凧の声が出なくなりました。私たちは、凧の画面が静かになるのを待ちました。遅れても間に合うことがある話、と凧は一行で答えていました。

第47回（三月）ときめきたい 『愛の不時着』（韓国テレビドラマ） 進行：  
タカノツメ 記録：はるまき

タカノツメの初めての進行で、第1話から第4話まで。会のあと、第5話にもう手を出した人は半分以上いました。はるまきは、その夜はがまんしたそうです。

## 寄稿 春に始めたいゲーム

---

(ヤギ)

新しいカレンダーの一枚目。指でめくる感覚が、ゲームの一日目に似ていると思った。

牧場を育てるゲームのシリーズがある。だいたい、春の一日目から始まる。荒れた畑と、古い家と、少しのお金。そこから一年かけて、季節をひとつずつ越えていく。

最初の春は、何も分からない。カブを植えて、水をやって、夕方には体力が切れて眠る。夏になると、少しだけ先が見える。秋には、もう来年の春の計画を立てている。一年目の自分の畑を見返すと、道がでこぼこで、手が止まる。

社会人になって二年目の春だ。一年目の畑は、たぶんでこぼこだった。

でも、ゲームの春は何度でも来る。現実の春も、たぶん同じだ。カブを植えるところから、もう一回。

## 寄稿 新生活とドラマ

---

（はるまき）

入学式の前の晩、上履きと体操着に名前を書き終えてから、新しい朝ドラの第1話を再生しました。

今週から始まった『虎に翼』です。女の人が法律の道に進むのがまだ当たり前じゃなかった頃の話で、第1週は、主人公がその道を選ぶかどうか迷っているところでした。いや、ほんとに、こういう第1週は、毎朝の十五分がたりないですよ。

春のドラマは、新しい生活と一緒に始まります。子どもが新しい教室に慣れるのと、はるまきが新しいドラマの登場人物に慣れるのが、だいたい同じ速さです。四月の終わりには、どっちもなじんでいる。いつも、そうなんです。

## 春の選書

---

今号は二つだけ。

『ハチミツとクローバー』羽海野チカ（漫画）

選んだ人：草餅。美大の学生たちの、片思いばかりの話。春の若葉みたいな色のページが、ときどき、ものすごく切ない……

宮沢賢治『春と修羅』（朗読で）

選んだ人：こはぜ。詩集です。朗読で聴くと、言葉が風のように耳の奥を通りぬけていくのです。春の午後、縁側で。

## 次の会

---

- 第48回（四月） テーマ「背中を押されたい」。宮島未奈の小説『成瀬は天下を取りに行く』。進行は灯、記録はぬか。
- 第49回（五月） テーマ「静まりたい」。映画の回です。進行はロク、記録はこはぜ。

しずく通信 第16号 2024年4月 編集：栞（代理）

## しずく通信 第16号

---

2024年4月 発行

編集 栞

発行 一滴舎

この冊子は会員向けに発行したものです。